
令和6年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和6年3月8日

質問者（質問順）

- 1 みわ 智恵美 委員（共産党）
- 2 遊佐 大輔 委員（自民党）
- 3 大桑 正貴 委員（自民党）
- 4 望月 康弘 委員（公明党）
- 5 藤崎 浩太郎 委員（立憲党）
- 6 関 嵩史 委員（維新会）

財 政 局

局 別 審 査

1 み わ 智恵美 委員（共産党）

1 市民の命と暮らしを守る防災対策予算について

- (1) 防災対策予算については、安全安心なまちづくりのため、区や局など現場の声を反映しながら優先的に対応すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 交通局が浸水時のバス営業所のバス車両の一時的な退避場所確保に苦慮しているが、財政局には利用可能な市有地等の確保と利用調整等の役割があるため、関わっていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 応急復旧期における必要な予算措置と財源確保の考え方について伺いたい。
(要望) 防災計画において、災害応急復旧期における必要な予算措置と財源確保の役割がわかるようにしていただきたい。

2 適正化の名のもとに行う学校・図書館の規模縮減化の見直しについて

- (1) 公共建築物の適正化の考え方について伺いたい。
- (2) 図書館は特性や役割に着目して適正化を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 鶴見区豊岡町の複合施設化において、今ある鶴見図書館をなくすと、地域住民の生涯にわたる学びを支援し、本と出会い、人と出会う場を豊かにするチャンス逃すと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 公共建築物の適正化において、学校施設や図書館は、その施設の特性や役割に着目して行うべきで、床面積の縮減の対象から脱却すべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 図書館や学校は、床面積縮減の考え方ではなく、横浜市の魅力をさらに引き上げる対象に位置付けていただきたい。

2 遊佐大輔委員（自民党）

1 令和6年度予算案と財政運営について

- (1) 令和6年度予算案の所感について伺いたい。
- (2) 財政局が考える財政運営の路線について伺いたい。
- (3) 施設等整備など公共投資を増やすことで、賃金水準を上げ、消費を喚起し、投資を呼び込むという好循環を生み出すことが重要と考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 「財政」をうまく活用することで、本市に集う人々や事業者をしあわせにするようなまちづくりが重要と考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 投資をすることによって、どのような経済効果があるのかをより積極的に考えていくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。

2 更なる財源確保に向けた市税収入の確保の取組について

- (1) 固定資産税の主な増収要因について伺いたい。
 - (2) 個人市民税と固定資産税の長期的な税収の動向について伺いたい。
 - (3) 人口減少となる中で、まちづくりにも税収増の視点が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 税収増の観点を盛り込みながらまちづくりを行うよう要望する。

3 宝くじの販売促進について

- (1) 宝くじ収入の直近5か年の実績について伺いたい。
 - (2) 宝くじの全国の販売実績の推移について伺いたい。
 - (3) 宝くじ収入の用途について伺いたい。
 - (4) 全国的に展開されている販売促進策について伺いたい。
 - (5) 本市が取り組んでいる販売促進策について伺いたい。
- (意見) 宝くじの売上の一部が市の財源になっていることを一層知ってもらうための取組が必要である。
- (6) 宝くじに関連して、売上げ促進とエリア活性化につながるような取組が必要

と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 市中心部以外の地域も注目されるような宝くじの販売促進の取組を進めて
いただきたい。

3 大 桑 正 貴 委員（自民党）

1 財政ビジョンに基づく財政運営について

- (1) 本市の財政状況に関する認識について伺いたい。
 - (2) 財政局が考える「創造・転換」について伺いたい。
 - (3) 新財務会計システムをしっかりと活用して、評価と予算の連携を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 「創造・転換」による財源創出を進めるにあたっては、市民・事業者に対し、財政局としてしっかりと説明をするべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 市民・事業者の理解を得ることなく、施策の推進と財政の健全性維持の両立は実現しないことを理解して取り組んでいただきたい。

2 ファシリティマネジメントの推進について

- (1) 今後の廃校活用の進め方について伺いたい。
 - (2) 野七里の付帯設備などの内容について伺いたい。
 - (3) 本郷台駅周辺の公共施設の再編整備の検討状況について伺いたい。
 - (4) ファシリティマネジメントの推進に向けた決意について伺いたい。
- (要望) ファシリティマネジメントの推進において、地域の要望にも丁寧に対応しつつ、区役所と連携・協力し、取り組むよう要望する。

3 公共事業の総合調整と働き方改革への対応について

- (1) 令和5年度12月補正予算による発注サイクル前倒しに伴う平準化の効果について伺いたい。
 - (2) 令和6年度における平準化の目標値達成の見込みについて伺いたい。
 - (3) 週休2日工事の制度改正の内容について伺いたい。
 - (4) 今後の更なる週休2日の取組について伺いたい。
- (要望) 週休2日の浸透は、建設業界の就労環境の改善と新たな担い手の確保につながるため、しっかりと取り組んでいただきたい。
- (要望) 本市の補助金を活用した保育園の修繕工事において、建設業者が前払い金

の支払いを請求できるよう、保育園運営事業者に働きかけることを要望する。

4 委託契約の価格の適正化について

- (1) 物価や賃金の上昇を設計価格に適切に反映すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (2) 設備保守業務における最低制限価格制度の導入有無による落札率の差について伺いたい。
 - (3) 設備保守業務について最低制限価格制度の対象を拡大すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 委託契約の価格の適正化に必要な取組を積極的に行うことを要望する。

5 財政局における財源創出について

- (1) 財政局予算案における財源創出の取組について伺いたい。
- (2) 「創造・転換による財源創出」の主な取組について伺いたい。
- (3) 財政局における今後の財源創出の展開について伺いたい。

1 公共工事における書類のシステム化について

- (1) 労働時間の縮減に向けた建設業界の取組について伺いたい。
 - (2) 工事書類のシステム化に関するこれまでの取組について伺いたい。
 - (3) 実際に情報共有システムを活用した事業者や職員の声について伺いたい。
 - (4) 令和6年度の情報共有システム活用に関する取組について伺いたい。
 - (5) 情報共有システムをさらに普及促進していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 施工時期の平準化、週休2日工事、工事書類のシステム化を3本柱として
財政局が中心となって働き方改革を進めていただきたい。

2 市税の納付しやすい環境整備について

- (1) 「地方税共通納税システム」での電子納税の方法について伺いたい。
 - (2) 電子納税の利用状況について伺いたい。
 - (3) 電子納税を利用しない人の納付手段の拡充について伺いたい。
- (要望) 市民が「地方税統一QRコード」の利用方法を理解し、これまでに拡充してきた納付手段の利便性を知ってもらうための広報を進めていただきたい。
- (4) 「地方税統一QRコード」を利用した納付方法を導入する意義について伺いたい。
- (要望) 24時間365日いつでもどこでも簡単に納税できる市税の納付環境について、
広報にも力を入れて、取組を進めていただくよう要望する。

3 財務会計システムの運用管理について

- (1) 予算執行、資産管理、未収債権管理システムの開発状況について伺いたい。
 - (2) 予算執行、資産管理、未収債権管理システムの特徴について伺いたい。
- (要望) 予算執行、資産管理、未収債権管理システムのそれぞれの特徴を踏まえ、
しっかりとシステムを活用して効率的な財政運営を進めていただきたい。
- (3) 財務会計システムの本格稼働と持続可能な財政運営への活用について伺いた

い。

(意見) 新たな財務会計システムが、本市の将来にわたる責任ある財政運営にしっかりと貢献し、全世代に向けた市民サービスの維持・向上につながっていくことを期待している。

4 資産の適正管理と戦略的利活用について

(1) 未利用等土地の適正化実績と目標達成の見通しについて伺いたい。

(2) 未利用等土地の適正化計画策定に向けた令和6年度の取組について伺いたい。

(3) 資産管理システムを導入することによる効果について伺いたい。

(4) 資産所管局による取組が行われながら、財政局がイニシアチブを取りつつ環境整備も進めていくことが重要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 財政局が全市的な視点を持ってファシリティマネジメント推進の役割を果たしていただきたい。

1 ファシリティマネジメントの取組について

- (1) これまでの公民連携の取組状況について伺いたい。
 - (2) 今後、公民連携を推進していくためには、あらゆる先事例から学ぶ取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。
 - (3) ファシリティマネジメント推進にあたっての人材育成の取組について伺いたい。
 - (4) 公共施設の適正化の推進に向けた取組について伺いたい。
 - (5) ファシリティマネジメント推進室長と図書館ビジョン担当の兼務の立場からの公共施設マネジメントの見解について、伺いたい。
 - (6) 憲法に規定された教育の機会、健康で文化的な最低限の生活を営む権利、知る権利を実現するものが図書館であり、こうした国民の権利を守る必要があると考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 市民が得るべき権利がしっかりと守られるよう取り組んでいただくことを要望する。

2 財政情報の見える化について

- (1) 財政情報の見える化を実施する意義について伺いたい。
- (2) 財政情報の見える化の取組状況について伺いたい。
- (3) 今後の財政情報の見える化の取組の方向性について伺いたい。
- (4) 事業評価書のオープンデータ化とデータビジュアライズによる課題の明確化を進め、市民の皆様からの課題解決や共創の提案を受け止め、共に解決するコミュニケーションの手段やツールを検討していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 財政ビジョンの進捗と事業評価・予算編成の連動について

- (1) 直近3か年の減債基金の臨時的な活用額の推移と令和6年度予算編成における収支不足解消の取組について伺いたい。

- (2) 新財務会計システムを活用し、今後も事業評価と予算編成とをしっかりと連動させながら収支不足解消に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 財政局での取組が可視化されることは市民のコミュニケーションにとって重要であることから、引き続きしっかりと取り組んでいくことを要望する。

1 法定外税等の活用について

（１）市税における外資系法人の課税の考え方について伺いたい。

（２）現状における宿泊税導入の検討について伺いたい。

（３）今後の宿泊税導入の検討について伺いたい。

（意見）他都市の状況や変動する世界経済の動向を踏まえつつ、宿泊税に関する議論を柔軟に進めることが重要であり、市民と観光客、双方の利益のためより良い公共サービスを作っていく意識が大切である。

2 債権管理の適正化に向けた取組について

（１）未収債権管理システムの概要について伺いたい。

（２）未収債権の縮減を進めるにあたっての実務上の課題について伺いたい。

（３）弁護士の具体的な活用について伺いたい。

（要望）公金を納める市民が不利益を被るようなことや行政に対して不信感を持つことが無いよう、未収債権への対策強化など適切な債権管理に努めていただくよう要望する。